

大学等の新增設・改組
設置申請用学生確保の見通しを
記載した書類・アンケートのポイント
2025年(R7)開設対応

2023年10月17日
(2023年8月4日より改)

リクルート進学総研
西村紗智



本日の 内容

- 1 : 「学生確保の見通し等を記載した書類」の変更ポイント
- 2 : 「学生確保、人材需要アンケート」の変更ポイント

本資料においては、主に学生募集活動に関わる方への情報提供を目的に「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」（令和7年度開設用）の23（R6）年9月公開分における当該部分について解説しています。「学校法人の寄附行為の認可及び寄附行為変更の認可申請書類の作成等に関する手引き」（令和5年9月改訂版）においても、「学生確保の見通し等を記載した書類」については変更等生じているため、書類作成にあたっては十分にご留意ください。

本日の 内容

- 1 : 「学生確保の見通し等を記載した書類」の変更ポイント
- 2 : 「学生確保、人材需要アンケート」の変更ポイント

「学生確保の見通し等を記載した書類」とは何か

- 「入学定員の充足」及び「卒業後の進路」の需要確認、つまりマーケティング結果を報告するための書類

設置審査用申請書類一覧

| 資料の呼称 | 手続の種類 |
|---------------------|-------|
| | 大学新設 |
| 1 申請書・届出書 | ○ |
| 2 目次(※紙媒体で提出する場合のみ) | △ |
| 3 基本計画書 | ○ |
| 4 設置前後の学位 | — |
| 5 基礎となる学部等の改編状況 | — |
| 6 教育課程等の概要 | ○ |
| 7 授業科目の概要 | ○ |
| 8 シラバス(授業計画) | △ |
| 9 2以上の校地ごとの状況 | △ |
| 10 2以上の校地での教員勤務状況 | △ |
| 11 校地校舎図面 | ○ |
| 12 学則 | ○ |
| 13 教授会規程 | ○ |
| 14 意思決定書 | ○ |
| 15 設置の趣旨等 | ○ |
| 16 学生の確保の見通し等 | ○ |
| 17 教育委員会調整内容 | △ |
| 18 名簿(学長) | ○ |
| 19 個人調書(学長) | ○ |
| 20 名簿(教員) | ○ |
| 21 教員年齢構成 | ○ |
| 22 実務家教員一覧 | △ |
| 23 個人調書(教員) | ○ |
| 24 薬学実習概要 | △ |
| 25 教育課程連携協議会 | △ |
| 26 連携協力校等概要 | △ |
| 27 通信方法説明書 | △ |
| 提出部数 | 1 |

設置しようとする学部等の入学定員設定の適切性、学生の確保の見通し及び学生確保に向けた取組について、以下の項目立てで説明してください。

- (1) 新設組織の概要
- (2) 人材需要の社会的な動向等
- (3) 学生の確保の見通し
- (4) 新設組織の定員設定の理由

・設置認可申請、寄付行為変更認可申請、届出いずれの場合も、提出必須書類(名称変更には不要)

・届出の場合は、事前相談時ではなく、届出書提出時に出す

・設置認可申請、寄付行為変更認可申請において、審査の対象となる

※出典：大学の設置等に係る提出書類作成の手引き(令和7年度開設用)

「学生確保の見通し等を記載した書類」変更のポイント

- 大幅に変更：例年9月に公開される「手引き」が、学生確保に関する書類のみ1月・6月に先行公開される異例措置
- 23年（R5年）9月更新においても、修正・追加が発生

「学生確保の見通し等を記載した書類」

※6月更新分においては（ ）内削除

| | 24開設まで | 25開設から (2023年1月・6月に 先行して公表) |
|----------|--------------------|---|
| タイトル | 学生確保の見通し等を記載した書類 | 学生確保の見通しと (学生確保に向けた取組) ※を記載した書類 |
| 対象 | 新組織のみ | 新組織と既設組織 |
| エビデンス | 必要に応じて | 全ての項目において客観データ及びその資料の提出が必須 |
| 書きぶり | 分析し、説明 | 主観を最大限排除したうえで定量分析、学生確保の見通しの 確実性を説明 |
| アンケート | アンケートを行う場合は～ | ①記載項目として固定化、かつ定量分析が難しい場合は、 困難である理由を具体的に説明 ② 定員増を伴わない設置 においては、必ずしもアンケート実施や詳細なクロス集計までを求めるものではなく、過去の実績等から入学定員設定の妥当性について説明することも可 |
| | クロス集計の不適切事例が例示 | 設問・選択肢・クロス集計の項目がすべて指定 |
| 競合分析 | 妥当性のある競合校 | 設定の根拠 を明示（学校種・定員規模・学問分野・所在地の 類似性 を説明し、 優位性 を示す） |
| 学生確保の取組み | 具体的な取組みを組織的に行っているか | 学生募集 戦略・方針・実施計画・目標・取組みごとに見込まれる入学者数 |

※出典：大学の設置等に係る提出書類作成の手引き（令和7年度開設用）

「学生確保の取組み」記載のポイント

- 過去のPR活動の実績（OC来場者数、資料請求数等）のうち、受験率、入学率を分析 → 根拠データの蓄積が必要
- 学生募集戦略・方針・実施計画・目標・取組みごとに見込まれる入学者数 → 過去のデータに基づいた戦略策定が必要

別紙 3

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：〇〇大学経営学部のオープンキャンパス

| | R3年度入試 | R4年度入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析 |
|--------------|--------|--------|--|
| 参加者等総数 (a) | 1000人 | 2000人 | ①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、在学生との懇談、施設案内を実施。 R3年度入試対象者：計7回開催（5/10.6/20.7/10.7/11.7/12.8/10.8/11） R3年度入試対象者：計8回開催（5/10.6/20.7/10.7/11.7/12.8/10.8/11.9/20） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ○○○○○ |
| うち受験対象者数 (b) | 500人 | 1200人 | |
| うち受験者数 (c) | 200人 | 800人 | |
| うち入学者数 (d) | 10人 | 200人 | |
| （受験率 c/b） | 40.0% | 66.7% | |
| （入学率 d/b） | 2.0% | 16.7% | |

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：

| | R3年度入試 | R4年度入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析 |
|--------------|---------|---------|---|
| 参加者等総数 (a) | | | ①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。 |
| うち受験対象者数 (b) | | | |
| うち受験者数 (c) | | | |
| うち入学者数 (d) | | | |
| （受験率 c/b） | #DIV/0! | #DIV/0! | |
| （入学率 d/b） | #DIV/0! | #DIV/0! | |

個別の取組みを具体的に記載、チャネルごとの「入学者」数を示す

- ・学生募集活動の実績に基づき、入学者確保のシミュレーションを要求
- ・学生確保アンケートの対象者の選定との整合性も問われる

本日の 内容

- 1 : 「学生確保の見通し等を記載した書類」の変更ポイント
- 2 : 「学生確保、人材需要アンケート」の変更ポイント

「アンケート」変更のポイント①

- 項目として固定、定量分析が難しい場合は、困難である理由を具体的に説明、または 定員増を伴わない設置においては、必ずしもアンケート実施や詳細なクロス集計までを求めるものではなく、過去の実績等から入学定員設定の妥当性について説明することも可（23（R6）年9月公開分にて補記）
- 信頼性の高い情報の獲得 → **高校留置調査以外に学生募集実態にあわせた調査設計が必要**

④学生確保に関するアンケート調査

- 新設組織で学生が確保できる見通しについて、調査の一環として受験対象者等へのアンケート調査を行う場合は、以下の点に留意し、**信頼性の高い情報の獲得（オープンキャンパスや進学説明会の来場者、附属高校の在籍者など、既に当該大学等に興味関心をもつ者に対するアンケート結果を活用するなど）に努めてください。**

○アンケート調査時期や地域が適切であること。

（新設組織の開設時期や学生募集地域等と、アンケート対象者の入学時期や地域が合致しているか。（社会人、外国人留学生等の場合は、適切な者を対象としたアンケート調査を実施しているか。））

○アンケート対象者に必要な情報を明示していること。

（新設組織の教育の理念等を十分に理解しているか。）

明示すべき事項例：①学部学科等の名称

②設置の理念、養成する人材像、アドミッション・ポリシー

③設置場所、アクセス

④学生納付金

⑤競合する大学又は学部学科等の名称

認可申請（設置・収容定員増）においてはアンケートは実質必須化

- ・（3）学生確保の見通し ④学生確保に関するアンケート調査 の項目が設定

段階的かつ学生募集の実態にあわせたアンケートの設計が必要

- ・ OC、進学説明会、附属高校、既に当該大学等に興味関心をもつ者へのアンケートを推奨
- ・ アンケート対象者に「必要な情報の明示」が規定

※出典：大学の設置等に係る提出書類作成の手引き（令和7年度開設用）

「アンケート」変更のポイント②

- 設問・選択肢・クロス集計の項目がすべて指定 → **集計方法の共通化、厳格化**
- 「学校種×設置者×興味のある学問分野×第一志望での受験×入学する」のクロス集計の回答者が、入学定員を上回ること。

※第一志望以外での受験、入学希望者を「適切な割合」を乗じて入学込み者数に計上することについては、「寄付行為変更認可申請の手引き」にてポイントが解説されているため、あわせてご確認ください。

1. 卒業後の進路 [※新設組織の種類に応じて説明や選択肢の変更可](#)

【設問】

卒業後の進路をどのように考えていますか。（複数選択可）

【選択肢】

- ①大学 ②短期大学 ③専門職大学 ④専門職短期大学 ⑤専門学校
⑥就職 ⑦その他

（クロス集計する選択肢「設置する学校の別」）

2. 進学を希望する場合の大学等の設置者

[※新設組織の種類に応じて説明や選択肢の変更可](#)

【設問】

上記設問のうち、①～④を選択した方に質問です。

志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

【選択肢】

- ① 国立 ② 公立 ③ 私立

（クロス集計する選択肢「設置構想中の大学等設置者」）

設問の説明、選択肢の変更は一部認められているが、基本的には手引きの指示通りのアンケートを実施する

3. 興味のある学問分野

【設問】

高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。

（複数選択可※新設組織の学問分野に該当がない場合は、選択肢の追加可）

【選択肢】

学校基本調査の学科系統分類表の中分類から、[アンケート対象者の属性等を踏まえて複数の分野を抽出してください。](#)

（クロス集計する選択肢「設置構想中の学部等に該当する学問分野」）

4. 新設組織の受験希望の有無

【設問】

〇〇大学〇〇学部〇〇学科（設置構想中の学部等名）が開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。

【選択肢】

- ①第一志望として受験する ②第二志望として受験する
③第三志望以降として受験する ④受験しない

（クロス集計する選択肢「①第一志望として受験する」）

5. 新設組織に合格した場合の入学希望の有無

【設問】

上記4. で①～③を選択した方に質問です。

〇〇大学〇〇学部〇〇学科（設置構想中の学部等名）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。

【選択肢】

- ① 入学する ②志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
③ 入学しない

（クロス集計する選択肢「①入学する」）※上記4①～③ごとにクロス集計

- 対象高校（選定根拠）、調査票、調査に使用したリーフレット→**すべて提出**

対象者の選定根拠、調査票、リーフレット、すべてが審査の対象となる

- ・それぞれが、手引きの指定する内容通りに実施されているか
- ・高校を選定した理由、調査票の選択肢の設計、リーフレットの記載事項と、学生確保の見通しの本文との論理構成に一貫性があるかを確認される

○次に示す資料を添付すること。

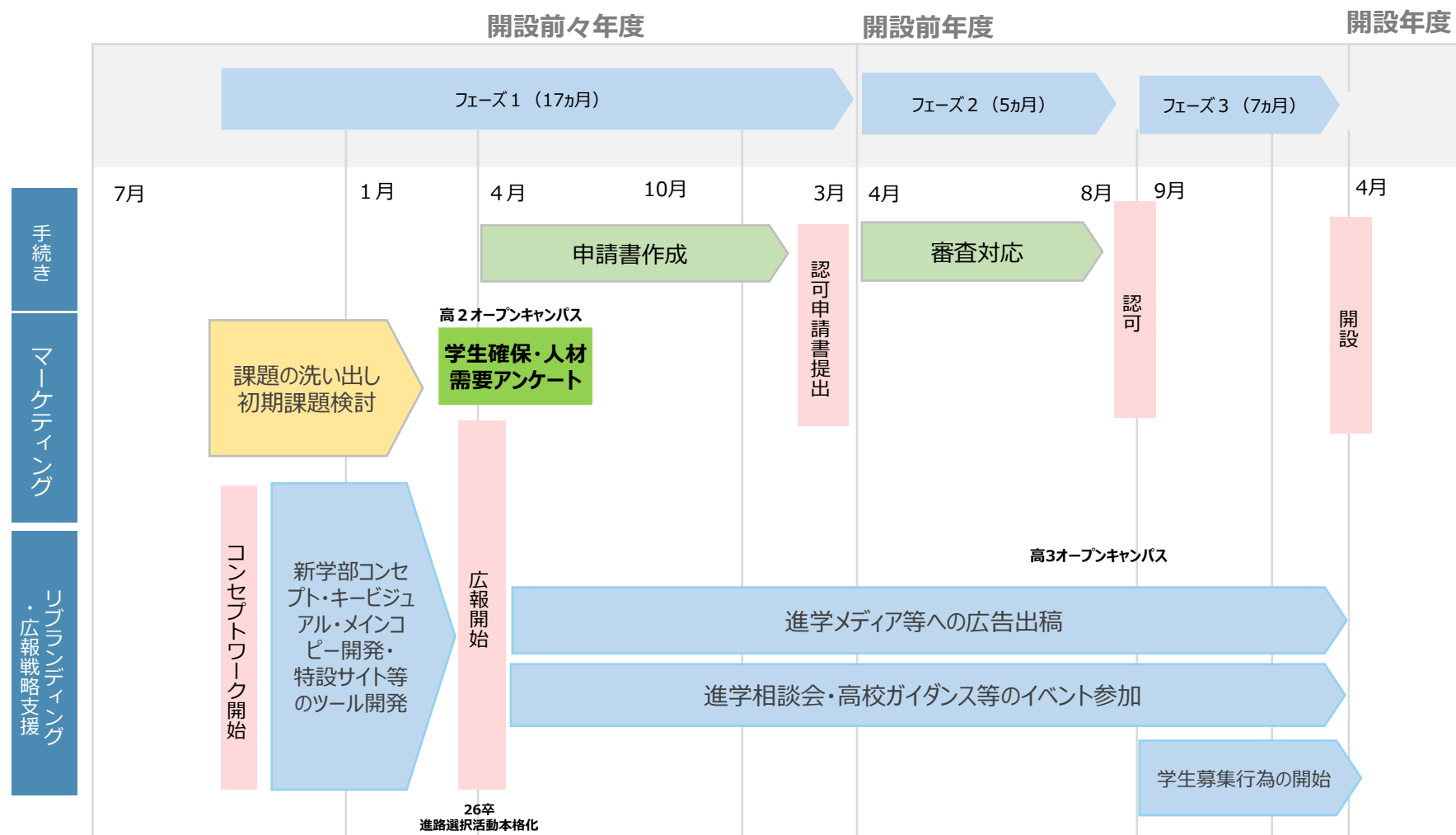
- ・ 調査対象とした高等学校名等の一覧（選定の根拠も明記すること。）
- ・ 調査に用いた調査票様式
- ・ 調査回答者に提示した新設組織に関する資料

特に注意が必要なポイント

- ✓ 協力依頼した高校と**入学（予定）者の実態に乖離**がないか（特に、地域の偏り）
- ✓ リーフレット等に記載する「競合する学校」と、学生確保の見通しの本文で競合設定し分析している学校の不一致
- ✓ 指定項目の記載漏れ、および入学定員、学位名称、卒業後の進路等、指定以外の項目についても指摘が入ることがある（**最低限明示すべき事項**という位置づけ）
- ✓ **アドミッション・ポリシー「資質・能力のうち大学において中核的と考えるもの」についてはすべての入学志願者について評価・判定することを原則とする、とされている（事前周知の必要性）**。届出の場合、アドミッションポリシーは事前相談書「設置計画の概要」には記載しないが、アンケートの開始時までには決める必要がある。
- ✓ 高校生が記入する「志望する分野」と、申請案件の「学位の分野」の整合性がとれているか

開設までのグランドスケジュール（認可申請の場合）

- 開設まで残32ヵ月程度から始動。学生確保のために、余裕をもって29ヵ月の広報期間をとりたい。（準備期間含む、2年前広報）
- アンケートは高2対象、夏休み前後には取り切れるように進めたい





スタディサプリ

高校・大学の取り組み事例等はHPに掲載しています。
「リクルート進学総研」

リクルート進学総研

